

事業報告書

報告日：平成 30 年 3月5日 (金)	講座名：中区タウンピクニック 一春を探しに三溪園と八聖殿へー	
開催日時：2月28日(水) 10時30分～14時30分	10:30～12:00 三溪園の正門前に集合、7名ずつのグループになり案内ボランティアと園内を散策	
参加費：無料 (入園・昼食代は各自負担)	12:00～13:00 園内にある待春軒でお弁当をいただく	
	13:10～13:45 三溪園南門から出て、八聖殿の館長の案内で本牧市民公園から八聖殿に向かう	
	13:45～14:30 八聖殿の説明と中区本牧の埋立や海苔の養殖、お馬流しなど歴史的なの話を伺う	
参加対象者：一般男女 募集定員：20名	申込者数：17名(男性4人 女性13人)	参加者総数：22名(男性8名・女性14名) (タウンピクニック実行委員4名 地域振興課3名含む)

内容：「中区タウンピクニック実行委員」が企画を立てるこの講座も9回目となりました。今回は三溪園と八聖殿に行ってきました。三溪園では参加者をグループに分け、ボランティアの案内人がついて解説をしてくださいました。移築した建物の歴史やエピソード、木々の様子などにも愛着のわく説明があり、深く知ることができました。また茅ぶき

屋根や庭の管理のご苦労がわかりました。八聖殿はなかなか訪れる機会の少ない施設ですが、館長自ら本牧市民公園からの道案内をしてくださり、開港の歴史の裏話や神奈川宿の浮世絵の話、本牧の埋立や海苔養殖、古い道具や聖人の像の作者紹介など切り口豊富なお話を伺い、今回も横浜の良さを再認識できたタウンピクニックでした。



▲ここからが撮影のベストスポット!



▲移築の歴史もそれぞれ



▲ボランティアの説明にも熱がこもります



▲梅や水仙が見頃、春の香りほのか



▲春の散歩に最適な一日



▲装飾をじっくり見ると興味深い



▲園内の待春軒で特製お弁当



▲市民公園の崖には「一の谷」の名前の由来あり



▲けっこう急な階段を上って八聖殿へ



▲八聖殿館長のお話を丘の上で。なぜ「フグの碑」がここに!?(説明は次回へ)
浮世絵の謎や海底にある瀬の話、ペリー来航の裏話等と話題豊富



▲八聖殿の個性的な外観



▲海岸線の移り代わりを解説



▲聖人の像は素材も作者も違うそうですが身長は皆約180cm

アンケートから・・・(回答14通)

○今回のタウンピクニックはいかがでしたか?

良かった=14

○良かった点

- ・ガイドの説明が楽しかった。人数もちょうど良い感じ
- ・八聖殿館長さんの説明がとても楽しかった
- ・横浜の郷土を知ることができた
- ・八聖殿は初めてでしたが、いろいろ詳しく教えていた

だきよかったです

・近場すぎてあまり足を向けないところに行けたこと

○他に行きたい所

- ・横浜のTV、映画撮影のロケ地巡り
- ・船に乗りたい ・新庁舎をもう一度 ・青果の輸入検疫をするところ ・関内周辺 ・個人では入りにくい場所 ・歩ける講座、楽しめる講座